

部局名	産業活力部	所属名	農業研修センター	所属長名	鈴木 孝行	電 話	450-4645
-----	-------	-----	----------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3273		事務事業名称	市民農園運営事業					短縮コード	経常	3273	臨時	3274
予算区分	会計	01	一般会計	款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	07	農業センター費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市農業研修センターの設置及び管理に関する条例 八千代市市民農園利用要綱							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
都市型農業の理解促進及び農家と都市住民の交流を図り、市民の農業に対する理解を高める。（特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律）													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測 ・近年、市民農園周辺地域では、個人経営の農園を利用する人が増え市民農園の利用率が減少している。				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	05	産業活力都市をめざして						
					大項目（節）	01	農業						
					中 項 目	01	農業						
					小項目（施策）	06	市民とふれあう農業の推進						
					細 項 目	01	市民農園の利用推進						
実 施 計 画 の 計 画 事 業													
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～		計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	○市民農園利用者							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： ①農家から土地を借り農園にする。・ 1 区画30㎡を貸し出しする期間。（3月から12月）・ 市民農園の土地賃借料を支払う。（1ヶ所分）・利用者等へ栽培講習会を行う。・維持管理を行う。							
	※平成19年度に計画していること： 平成19年度より民営化となり，事業は平成18年度をもって終了。							
意図 （何を狙っているのか）	利用者が楽しく農業体験が出来る。 農家（農業者）が、利用者に農業技術を指導する。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	農業への理解を深めてもらう，農地の保全。							
区 分				単位	1 7 年度	1 8 年度		1 9 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	市民農園利用数	人	179	116	75		
	指標 2	農園面積	㎡	11, 957	7, 000	7, 000		
	指標 3							
活動指標	指標 1	講習会開催回数	回	2	2	1		
	指標 2	貸出し期間	ヶ月	10	10	10		
	指標 3							
成果指標	指標 1	貸出し区画数／利用できた区画の割合	%	0. 7427	0. 7427	0. 7075		
	指標 2	毎年の新規申込み者／野菜作り教室の参加者数	%	0. 18	0. 15	0		
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		3273	事務事業名称	市民農園運営事業			所属名	農業研修センター
			単位	１７年度	１８年度		１９年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0			
		県	千円	0	0			
		地方債	千円	0	0			
		一般財源	千円	572	1,050	3,185		
		その他	千円	750	862			
	主な事業費の内訳			修繕費64千円（ベンチ等）、手数料10千円（トイレ汲み取り）、委託料32千円、使用料及び賃貸借料1072千円、	消耗品費42千円、光熱水費36千円、修繕料80千円、手数料4千円、使用料及び賃借料700千円、工事費1050千円	光熱水費32千円、修繕料17千円，手数料6千円，使用料及び賃借料700千円，事前家屋調査委託料500千円，工事費1,932千円		
	人件費(B)			千円	3,393.6	3,501.4	3,100.8	0
トータルコスト(A)+(B)			千円		4,715.6	5,413.4	6,285.8	0

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由							
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	市民農園を利用することで、都市住民の余暇の活用と野菜栽培等の農業体験を通じ、農業への理解が深まることで結び付いている。なお、本事務事業については行財政改革の一環として民営化を進めており、平成18年度末をもって民営化を完了した。							
			☐ 結び付くが見直しの余地がある								
			☐ 結びつきが弱い・ない								
			☐ 評価対象外事項								
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☒ 達成している	平成19年度より民営化となり、事業は平成18年度をもって終了。							
			☐ 達成していない								
			☐ 評価対象外事項								
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある								
			☐ 可能性はない								
			☐ 評価対象外事項								
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☐ 現状のままでよい								
			☐ 見直す必要がある								
			☐ 評価対象外事項								
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2、3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある								
			☐ 効率性向上の可能性はある								
			☐ 両方可能性がある								
			☐ 可能性がない								
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等								
			☐ 臨時的任用職員等の活用								
			☐ I T化等業務プロセスの見直し								
			☐ 受益者負担の見直し								
			☐ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 事業 名称	1			実施主体 (所管部署)			
			☐ 上記以外の方法					2			
			⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
					☐ ない						

コード	3273	事務事業名称	市民農園運営事業			所属名	農業研修センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他			市民農園の廃止後，市は民営市民農園の運営に側面から協力し，市民・農家との交流促進と農地保全に努める。		
		☒ 廃止					
		☐ 休止					
		☐ 現状のまま継続					
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費		平成19年度より民営化となり，事業は平成18年度をもって終了のため。	
削 減				不 変	増 加		
成 果		向 上	☐	☐	☐		
		不 変	☒	☐	☐		
		低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
・市内に新たな市民農園を作っていただきたい。・市民農園の情報などをホームページ等に掲載していただきたい。	

所属長コメント	市民農園のニーズは依然高いため，民営化後も農業研修センターと農園管理者との連絡を密にし，利用希望者への情報提供を今後も実施していく。	
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他	廃止決定事業。担当課の評価のとおりとする。
	☒ 廃止	
	☐ 休止	
	☐ 現状のまま継続	